

# 筑波大学新聞

## 第278号

編集責任  
筑波大学新聞  
編集委員会  
委員長 萩野祥三

TEL: 029(853)2040-6699  
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所  
筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

### 紙面から

公開講座	公判から評決まで体験	2
生物学五輪	大会を支えるボランティア	2
宇宙空間で初のライトアート		5
柔道 福見、小野がモスクワで優勝		8
陸上関東インカレ男女とも総合優勝		9
魔法にかけられた1日		11
特集	6,7	
進路決定の岐路 前編	大学院進学ガイド	
三特集	3	
副学長インタビュー	大学の課題と未来像	

## インフルエンザウイルス

# 本学教授ら増殖防ぐ構造解明

本学の永田恭介教授(シ)の増殖に関するRNAポリメラーゼ(合成酵素)に注目した。RNAポリメラーゼは3つのサブユニットからなり、この3つがそろって初めてポリメラーゼの機能を果たす。この特徴から、3つのサブユニット間の結合を阻害することでウイルスの増殖を防ぐことが出来る。この結合部位を阻害する新薬は鳥インフルエンザウイルスの増殖を抑制し、結合部位の阻害物質を化合物450万種類の中から、特に強力に抑える3種類を選出した。

はじめ、多様なタイプの新型インフルエンザウイルスにも作用する画期的な薬剤の開発に繋がるものと期待されている。

◇

メキシコで発生した新型インフルエンザは、全世界へと急激に感染を拡大し、世界保健機関(WHO)が警報レベルをフェーズ5(6月10日現在)に引き上げるなど、世界的な流行パターン(パンデミック)の兆しを見せ

た。

日本国内でも、関西地方で感染者が出たのを皮切りに、感染ルートが分からない感染者も続々と現れ、人々を感染の恐怖に陥れた。今回のウイルスは弱毒性のため、従来の薬が効果を発揮するが、いつ強毒性に変異するかわからないので、警戒を解くことは出来ない。

秋頃に新型インフルエンザがまた流行するのではという懸念もある。警戒を怠らず、しっかりと自衛対策をしていくことが肝要だ。本学ホームページでも対策を紹介している。

## 「紡ぎの庭」オープンガーデン 緑溢れるメデイセン前に 渡研究室が協力

筑波メデイカルセンター病院(つくば市天久保)前に「紡ぎの庭」オープンガーデンが開催された。訪れた人々は、色鮮やかな花とバンドによる演奏を楽しんだ。

「紡ぎの庭」は同病院前のペDESTリアンデッキを利用した、公園と通路の要素を合わせ持つ広場である。ペデの両側には、松の根本を石材とレンガで囲ったサークル型の花壇が34カ所ある。サークル内には季節の花やハーブ、ブルーベリが植えられている。

中央には高さ4メートルの木柱を円形に並び、鳥かごのようにしたパーゴラ(緑柱)が並び立つ。1年後にはスタージャスミンがパーゴラを覆い、甘い香りを放つ。「紡ぎの庭」では視覚だけでなく、嗅覚

に緑化したいという希望から生まれた。時期がちょうど「緑のデザイン賞」の募集期間であったことから、本学の渡和由教授(芸術)の研究室にデザインの企画が依頼された。

プロジェクトは特色ある大学教育プログラム(特色GP)「大学を開くアーカイブ・デザイン・プロセス」の一環で行われた。昨年10月に同センターと渡研究室による、「紡ぎの庭」検討会が連名で応募したプランが「緑化賞」を受賞。その副賞である助成金を使って、工事や植栽を行った。芸術専門学群や大学院の学生らが、デザインの立案、プレゼンテーションに携わった。

渡和由教授は「デザインでは座れる場所の確保に気を配った。既存の物を生かして、今後も維持・継続出来る庭づくりに努めた」と話す。また筑波メデイカルセンターの中田義隆理事長は「学生さんの創造力や行動力には感心した。病院側の出したベンチに対する要望も実現したので良かった」と語った。

今後同病院前のペDESTリアンデッキでは、つくば市による路面改修工事が行われる。路面のデザインも渡和由教授と学生が市に提案し、安全で楽しい広場にしたい材料と色調への張り替えが今年度中に完成する予定だ。



石段の上にレンガを積みこめて、座りやすい高さを表現した

や触覚を使って、自然を楽しむことが出来る。

「紡ぎの庭」は同病院の、枯れ草や雑草で雑然としてしまっているペデを本格的

に緑化したいという希望から生まれた。時期がちょうど「緑のデザイン賞」の募集期間であったことから、本学の渡和由教授(芸術)の研究室にデザインの企画が依頼された。

プロジェクトは特色ある大学教育プログラム(特色GP)「大学を開くアーカイブ・デザイン・プロセス」の一環で行われた。昨年10月に同センターと渡研究室による、「紡ぎの庭」検討会が連名で応募したプランが「緑化賞」を受賞。その副賞である助成金を使って、工事や植栽を行った。芸術専門学群や大学院の学生らが、デザインの立案、プレゼンテーションに携わった。

梅雨の季節が今年もやってきた。真っ白な霧に覆われた朝を迎えることも多くなった。梅雨は、梅雨時には元気をなくしてしまいがちだ。部屋の外に出る気も起きない、ということもある。どうしたら梅雨のうつろいしさに打ち克って部屋から出て、雨のつづきは危険があふれている。多くの場面面で自転車に頼った生活をしている私たち学生にはなにかあった。本学を南北に走るペDESTリアンデッキの舗装材は、雨に濡れると滑りやすい。そこに起伏に富んだ本学のキャンパスの組み合わせ。どうぞ転んでください。濡れた路面は「滑りやすい」と言わば、雨空を映している。色とりどりの雨傘が学内を流れてゆく。様子は美しい。だが、片手に傘をさし、自転車のハンドルを握る人々の表情は必死だ。少しでも荒っぽく操縦すれば、自転車はあっと言う間にコントロールを超えて暴れだしてしまう。ペDESTリアンデッキは本来、歩行者のために設計されたもの。しかし、実際には多くの自転車に利用されている。石の広場から第二エリアへの下り坂の直後など、事故が多い場所。鮮やかな雨傘の群れが、徐々にペDESTリアンデッキを流れる様子を見てみた。

## つくば歳時記



やどかり祭のフィナーレを飾る、火文字。「桜」の文字が夜の闇に浮かび上がると、会場から歓声が上がった。燃えさかる炎と勇ましい和太鼓の競演に、会場は酔いしれた。携帯やデジタルカメラで様子を撮影する人も多く見られる中、やどかり祭に幕が下された。(撮影・隅田聖二 国際総合学類)

## 筑波大学特別講義 — 大学と学問 — 学長が自身の研究語る 父の姿見て医者を目指す

2年目を迎えた「筑波大学特別講義—大学と学問—」が4月15日から開講され、5回目となる先月20日の授業では山田信博学長が壇上に立った。本講義のサブテーマでもある「大学と学問」を題目に講義を行った。

山田学長はまず、本学の建学にあたっての構想について説明した。

また、自身が今の専門に進んだ理由について「夜中に起こされても、不平を言わずに患者を診る父の姿を



壇上で講義する山田学長

見て、医者を目指す」と思ったと話した。専門とする動脈硬化や糖尿病の研究については、「今でこそメタボリックシンドロームなど話題を集めているが、当時は地味な研究だった」と話した。

授業を履修している国総2年の男子学生は「新しい学長がどのような人か、分かっただけでも良かった」と講義の感想を話した。

筑波大学特別講義は、総合科目として新入生向けに開講されており、毎回各異

17日には国立西洋美術館の青柳正規館長が「芸術と社会」について、24日には旭化成(株)の山本二元常任相談役が「社会が大学生に望むこと」について、それぞれ講義する予定。

CO2削減実験

Jリーガーと協力 食用油を燃料に

本学とサッカーJリーグの鹿島アントラーズ、国立環境研究所、博報堂DYメディアパートナーズらが共同で、競技場から排出される二酸化炭素(CO2)の削減を狙った実証実験を5月10日に実施した。試合会場に会場したサッカーファンに、家庭などで使用した食用油の提供を呼びかけ、集めた廃油からバイオディーゼル燃料を製造。競技用具の運搬車両などの燃料として使用する。

近年注目されているバイ

就職率

今年比1%減

昨年度の本学生の就職率がまとまった。学群の就職率は94%と昨年度の95%から1ポイント下げた。学群卒業生で就職を希望した人は1088人で、就職した人は1028人。

就職者の内訳は企業が76.1%、教員が9.5%、公務員が11.9%、独立行政法人などが2.5%だった。一昨年と比べ、企業就職の割合が低下し、教員・公務員就職の割合が上昇する傾向が見られた。

大学院修士課程では、修了者1587人のうち就職者数が997人で一昨年度より上昇、博士課程への進学者数も197人で一昨年度より上昇した。修士課程全体の就職者数の上昇は、教員・公務員への就職者数が増えたことが要因と見られる。博士課程では、修了者373人のうち122人が就職した。

公開講座「裁判員制度を体感する(1)」

公判から評決まで体験

現役弁護士が講義する 教員を唸らせる質問も



模擬法廷での被告人尋問の様子

5月21日から実施されて、制度を体感する(1)が、5月11、12日の両日に1B体験する公開講座「裁判員108」などで行われた。

くは市内外から10人が講座に参加し、裁判員が参加する模擬裁判を体験した。11日には、茨城県弁護士会の谷秋陽一弁護士が、裁判員裁判に参加するにあたって、必要とされる基本知識などの解説を行った。翌12日には、本学の根本信義教授(法学)が実際に模擬裁判を行った。根本教授が裁判長役を、社会学類法学専攻の学生が検察、弁護士役などを担当し、参加者は裁判員役で参加した。公判中にはさまざまな質問が飛び出し、主催した教員を唸らせる鋭い質問もあった。また、スクリーンを用いた証人尋問の様子も映し出された。

10月には「裁判員制度を体感する(2)」が開講される予定。募集人員は20人。問い合わせは029・853・2216(2917)(筑波大学学務部学務課社会連携担当)。

小学校教員資格認定試験説明会

試験でのノウハウを学ぶ 2種免許取得が可能

小学校教員免許取得に関する説明会が5月20日、21日の2日で行われ、教員を目指す学生ら約50人が集まった。

本学は小学校教諭の教職課程の認定を受けていないため、現状のカリキュラムでは免許取得することが出来ない。しかし、小学校の教員免許を取得したいという学生の要望に応え、2年前から吉田武勇教授(教育)が説明会を開催している。説明会では、合格すれば小学校教諭2種免許状を得られる文部科学省主催の「小学校教員資格認定試験」についての説明があった。

6月19日までに受験を希望する大学へ提出する。認定試験には、幼稚園教員や特別支援学校教員の免許状を取得出来るものもある。詳細は、文部科学省のホームページを参照。

吉田教授は、試験の難易度や受験資格、出願方法などについて説明し、「教員になるうえで、小学校の教員免許状は有利に働くであろう」と学生たちにエールを送った。

第6回3Eカフェ 阿部氏が環境教育語る 写真展も同時開催

写真展も同時開催

第6回3Eカフェが6月1日、総合研究棟A111で行われ、学生や市民など約50人が参加した。今回のテーマは「環境教育」自ら人間が共生する環境へ行われた。



写真からはそれぞれの民族の文化が感じられる

前半の講演で阿部さんは、自身の生い立ちから環境教育を志すようになった経緯を語り、続いて「持続可能な開発のための教育(ESD)」の実現は、政治抜きには考えられないと語った。また熊本県水俣市の地域再生は、自

然をベースにした環境教育の成功例であると述べた。後半の交流会では参加者はグループを作り、講演会の感想を発表し合った。特に90年代に起こった「割りばし」の論争が話題に挙がると、阿部さんは「割りばし

の問題点は、海外の木々が材料に使われていること。店で国産の割りばしを見かけたら、自宅に持ち帰ってでも使ってほしい」と話した。

今回の3Eカフェと連動して、「ユネスコ・アジア文化センター」フォトメッセ「セツ展」が5月16-18日に中央公園レストハウス内の市民ギャラリーで開催された。会場には「伝えた」の「無形文化遺産」をテーマに、環太平洋やアジア各国の伝統・文化のワンシーンが展示された。3Eカフェと外部機関との連携は初の試みである。

Q 次の図は葉の切片を表している。水辺に生息しているものに相当するのはどれか?
I, II, III, IV, V (Microscopic diagrams of leaf cross-sections)
A) I, IIとIII B) II C) I, III, IVとV D) I, IIとV E) I, IIIとVI

ボランティアに支えられ、参加者は上のような問題に挑戦する(アルゼンチン・リオクアルト大会2006問題)

IBO 国際生物学オリンピック (後編)
大会を支える学生ボランティア
7月12日から開催されるIBO(国際生物学オ

リンピック。前号では、今大会の概要を紹介した。今回は少し目標を委ねて、大会の陰の立役者である学生ボランティアに注目した。開催の中心が本学という点もあり、生物学類の学生ボランティアがさまざまな面で大会をサポートする。約2年前に発足した学生ボランティア



全大会の活動を大学側に説明する清川議長

三宅和夫氏(みやけ・かずお)本学名誉教授 5月10日死去、88歳。1942年東京帝国大学理学部物理学科卒。53年東京

学長との茶話会 問題意識の共有 学生との交流もはかる

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を紹介・報告し、学生と大学の親睦を図る学長と全代会との懇談会(茶話会)が6月4日、第一エリア食堂で行われた。山田信博学長や清水一彦副学長(教育担当)、赤平昌文副学長(研究担当)を始めとする教職員らと、清川朝日全代会議長(知識図書3年)ら学生が参加した。

研究費不正使用 准教授を処分

本学は、4月24日、研究費を不正に使用したとして、人間総合科学研究科の准教授(50歳)を停職1カ月の懲戒処分とした。平成20年度に行われた不適切な経理の有無に関する調査の結果、准教授は平成9-14年度にかけ、国

ストレス社会と心のケア 本学教授が講演 本学付属病院主催の第5回市民講座「ストレス社会と心のケア」がつくば国際会議場で5月9日に開催された。本学の三木明子教授(看護)がストレス社会の現状などを解説した。一般参加者や医療機関の職員ら数十人が聞き入った。

# 大学の課題と未来像 副学長 インタビュー

山田信博学長を中心とする新体制が、4月1日に発足してから2ヶ月が経った。学長を補佐する副学長も、精力的に活動している。そんな副学長が何を考え、どのような問題に取り組もうとしているのかを、先月に引き続き掲載する。今回は、財務・施設担当、総務・人事担当、企画評価・情報担当の各副学長に話を聞いた。(本紙松本典子、光安素子) 人文文学類、高橋俊樹 社会学類、鳥本剛司 社会学類

**田中 敏**  
財務・施設 担当副学長  
財務・施設担当という  
——財務・施設担当という  
ことですが、具体的にどの  
ような仕事をされるのか教  
えて下さい。  
——分りやすい例を挙げる  
と、財務に関する仕事とし  
ては、大学の予算作りや予  
算配分、経理面からの管理  
があります。施設に関する  
仕事は、学内の耐震工事や  
アスベスト除去工事の計画  
などを行っています。  
——取り組みべき課題は何  
でしょうか。  
——

財務面の課題としては、  
——予算を国に頼りすぎている  
ことが挙げられます。現在  
大学の予算の6割は国から  
もらっています。これは同  
規模の国立大学の中では大  
変大きい割合です。この国  
費負担率を下げ、他から予  
算を持って来られるように  
したいです。  
——施設面では学生宿舎の改  
修です。これについては以  
前から話し合われていて、  
今年度から5カ年計画で改  
修を始めた。予定では  
平成25年度に宿舎全体の半  
分ほどが改修されます。各  
フロアにシャワーを設置  
し、部屋のドアやトイレも  
したいです。  
——アスベスト、耐震工事  
の現在の状況はどのよう  
なっていますか。  
——学内のアスベストは本年  
度で対策を終える予定で  
す。また、耐震工事につ  
いても緊急に対策が必要な箇  
所は今年度で完了する見通  
しです。来年度からは、そ  
の他の校舎で耐震補強が必  
要なものについて工事を進  
めていきます。  
——どのような活動をして  
いきたいとお考えですか。  
——学外の人が本学や本学生  
の活動に賛同し、お金を支  
援出来る仕組みを作りたい  
し、部屋のドアやトイレも  
したいです。具体的

**鈴木久敏**  
総務・人事 担当副学長  
——就任にあたっての抱負  
をお願いします。  
——学生を始め、教職員も含  
む全ての人が一回り大きく  
育つような大学づくりをし  
ていきたいと思つています。  
いきいきと活動出来るような  
基盤をつくり、「自分はこの  
の大学にいて幸せ、育つこ  
とが出来た」と実感できる  
大学の姿を目指したいです  
ね。企業や社会からの二  
つ、人材を削減しつつ、い  
かに教育研究を活性化出  
来るかが問題だと思つてい  
ます。  
——教員と学生の関係につ  
いてどう思われますか。  
——教員は学生にもっとサー  
ビスや価値を提供すべきだ  
と思つています。教員の研究に  
学生が合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

## 国の予算に頼らない運営目指す

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

## 教育研究の活性化が今後の課題



——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類



**宇川 彰**  
企画評価・情報 担当副学長  
——本学はどのような大学  
だと考えていますか。  
——学問分野間の敷居が低い  
というのが特徴だと思つて  
います。同じ物でも見方を  
変えてアプローチすることで  
新たな発見が生まれること  
がありますね。いろいろな分  
野と協力して研究を行える  
ことが本学の魅力であり特  
色だと思つています。  
——今本学に必要なものは  
何だと思つていますか。  
——先ほど述べたように、本  
学の特徴の1つとして分野  
をまたいだ研究がありま  
す。それを十分に生かせる  
期待しています。  
——学生にメッセージをお  
願ひします。  
——自分の「学びのかたち」  
を確立出来るのは学生の  
文学類)

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

## 視点

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

## 広く深い知識で活力ある研究を

——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類



——国からの予算  
だけでは、学生生活など  
の十分な支援は難しいのが  
現状です。学生の活動を支  
援する基金が必要だと感じ  
ました。この計画はすでに  
動き始めていて、今後は学  
生が合合わせるのではなく、  
学生の研究に教員が合  
わせていけるのではないで  
しょうか。本学で育つた学  
生が、社会から渴望される  
ような人材になってほしい  
です。  
——最後に学生へのメッ  
セージをお願いします。  
——先を見据え、長期的ビジョ  
ンを持ちながら、自分の活  
動範囲を広げていってほし  
いと思つています。資格や学  
位は通過点であり、社会  
への意欲をもっと高めても  
らいたいですね。(本紙・  
光安素子) 人文文学類

■訂正  
本紙7月号3面掲載の  
ミニ特集の前文において、  
「新学長を支える8人の副  
学長」とありましたが、「7  
人の副学長」の誤りです  
ます。



私が研究を志した原点は、1964年の東京オリンピックに感動し、日本がメダルをもっと多く獲得出来るよう貢献したいと決意したことにかのぼる。

# 原点

GEN-TEN

学生時代には競技スポーツに真剣に取り組むと全国高校駅伝大会出場を目指して日々頑張っていた。

しかし、ランナーでメダル獲得者は世界中で4年に1人。万に一つの確率もない。メダルを目標におけば世界中のランナーが敗者になってしまう。担任先の大阪市立大学では監督として駅伝チームを指導していたが、ほとんどの学生は、大学を卒業すればサラリ

とした経年的研究を遂行することの限界を感じ取った。そこで、もう一つ深い関心を寄せていた肥満者の研究に本格的に着手す

使用を節約し、脂肪を効率よく燃焼させて一定レベルでゴールまで走りきる。もし肥満者がマラソンランナーのように乳酸閾値レベルで走れる

その後、国や民間企業、財団法人などから研究費の補助を受け、今まで肥満研究を継続している。肥満研究に関心の

## 五輪に感動しランナー研究 肥満の運動療法に生かす

田中喜代次

1955年生まれ。人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授。

父を亡くしたのは15年ほど前だが、時折姿を現して、ベッドに寝転がったり家の中を歩き回ったりしている。私は「おや、父は死んだはずなのに、父は死ななかつた感じがする。それを口にするに抵抗がある。父の死を認めないでいる。そんな夢を時折見る。病床に臥せていた父の面倒を、十分にみてやらなかったことの自責の念が残っているからに違いない。こんなふうに夢は、日常生活の中でちょっとした思いやら後悔や

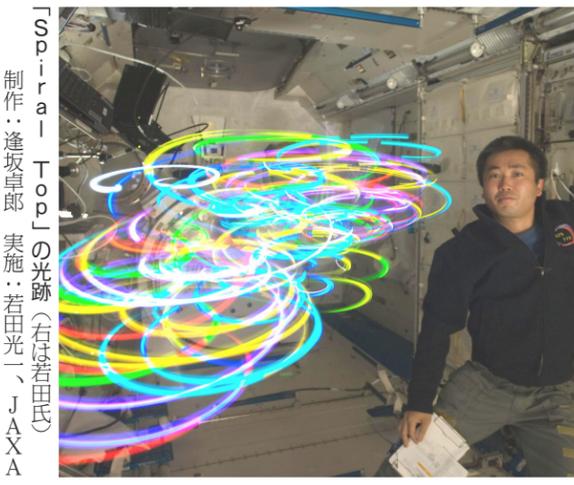
たなか・きよじ

萩尾望都は、物語を夢のように紡ぐ漫画家である。読むほどに象徴機構が解きほぐれ、主題が姿をあらわしていく。近作の短編集「山へ行く」

萩尾望都著 山へ行く

萩尾望都の多くは母の不可能性という主題をめぐって編まれており、そして「山へ行く」の10篇どれもが奥深くに主題を秘めた夢のようだ。豊かに織り成されたアリアドネの糸をほどく作業は、自分の夢を分析する時のように愉しく胸がときめくのである。5300円(小学館)(現現・講師)

# 「光の宇宙芸術」 宇宙空間で初のライトアート



制作：逢坂卓郎 実施：若田光一、JAXA

立体折り紙アート作成ツール 曲線を持つ折り紙に 本学三谷講師が開発



1枚の紙が曲線を持つ立体になる

「記憶の部屋」シリーズ

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

多重らせんの光跡描く 逢坂教授、8年越しの企画

本学の逢坂卓郎教授(芸術)が企画した「光の宇宙芸術」が4月30日と5月2日、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」内で製作された。宇宙空間で初めてのライトアートである。宇宙飛行士の若田光一氏が協力した。

1本につき5個の発光ダイオード(LED)が点滅する4本のアームを持つ独特の「Spiral Top」は、2本のアームにだけ重りをつけることで、多様な反転運動を行い、同心円、多重らせんの光跡を空間に描く。8年前から

本に重りを付ければ良いことが分かった。早速作り変えて今回の実験に臨んだ。結果は見事成功。「若田さんがうまく操作してくれた」と逢坂教授は若田氏をねぎらった。

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

星美加さん(芸術3年)

## 本学生個展

### 星さんの油絵展示 3次元CGで下絵描く

星美加さん(芸術3年)

## 第14回TIEES 「普段の生活にエコを」 藤巻准教授が語る

藤巻准教授が語る

藤巻准教授が語る

藤巻准教授が語る





# スポーツの舞台裏

## 第7回 水と抵抗

水泳は「抵抗」との戦いだ。同じ姿勢・同じ速度で移動すると水中では陸上の800倍以上の抵抗がかかってくる。水泳競技では、いかにして抵抗を低減するかがより速く泳ぐための重要な要素となる。

スイマー(泳者)の抵抗を低減させる研究は、ごく最近行われてきた。五輪で異彩を放った新型水着は、記憶に新しい。水着の開発だけではな

間にも生じる摩擦抵抗だ。従来の計測システムでは、けのび姿勢で抵抗が測定されており、手足を動かして泳いでいる抵抗(自己推進抵抗)とは違う数値が出ていた。水泳競技研究では、古くから精度の高い数値を測るには、泳者の体の表面の

造船技術について話しているうちに、自らも推進力を発揮している時の抵抗(自己推進時抵抗)も測れるのでは、とひらめいたと言った。それまではキックによる貢献部分が計測できていなかった

### 自然な泳ぎで計測可能に より早い動作へ一歩前進

研究が盛んに行われてきたが、いずれも精緻なものとは言えなかった。高木准教授は造船技術を応用し、自己推進抵抗を測定する方法論を編み出し、「自己推進時の抵抗係数とフルードの関

圧力分布を測定する必要はある。だが、泳者の泳ぎを妨げずに前進の圧力分布を計測することはほぼ不可能だった。高木教授は「ジャパンテクノメイト」という造船会社系列の研究所長と

### 福見、小野が見事優勝

#### 世界大会で伊部が準優勝

##### 柔道

グランドスラム・モスクワ大会が5月30、31日にロシアモスクワで行われた。本学からは48キログ級で福見友子(体育2年・了徳寺学園)、90キログ級で小野卓志



福見友子



小野卓志

(同1年回)栗野清治(体育3年)が出場し、福見小野がそれぞれの階級で優勝を果たした。栗野は惜しくも敗退した。

その日の福見は初戦から敵しい試合が続いたものの辛くも決勝に進出した。

決勝の相手は福見が若手選手とした相手だったが、開始直後、縦四方面を押さえ込むとそのまま勝利し、優勝を決めた。

福見は「優勝出来て良かったが、中身は良くない。課題が残るに逆になかった。世界選手権に向け、一つ一つ克服し、上を目指して頑張っていきたい」と語った。小野はその日、世界選手権のついでに大会に臨み、順当に決勝へ進んだ。決勝はリードを逆転され、延長にもつれ込む展開になったものの、相手の指導で優勝を決めた。

小野は「今回の優勝で、世界選手権でも多少は聞えると思った。自身の課題を克服し、より強くなって臨みたい」と語った。

岡田弘隆監督(体育・准教授)は「福見は、勝つという結果を残せたことがよかった。今回勝ったというところで気持ちが上向き。小野は逆転されてリードを許したものの、そこから逆転することが出来たのが大きい」と評価した。



第3回岡田弘隆杯争奪大会 県内外から29団体が集まる

第3回岡田弘隆杯争奪つばしユニテッド少年柔道大会が5月30日に、本学武道館柔道場で開催された。本大会は小学生の子供たちのために開かれた大会だ。これまでは近隣道場のみで行っていたが、今回は茨城県を中心に、県内外からさまざまなレベルの道場が29団体集まった。今大会も

審判や運営を本学柔道部の学生が任された。試合は学年と道場ごとの7人制の団体戦で、柔道場に設置されたコート上で実施された。大会会長の岡田弘隆准教授(体育)は「力のレベルにかかわらず多くの子供たちが試合をさせてあげたかったと思う。これからも続けていきたい」と話した。

### 関東学生・関東女子剣道 寺島、鈴木がアベック優勝

#### 全日本大会には9人出場

全日本学生剣道大会の予選を兼ねた第55回関東学生剣道選手権大会が5月10日、日本武道館(東京・千代田区)で行われた。本学からは8人が出場し、寺島光紀(体育4年)が優勝、西村英久(同3年)が準優勝した。

寺島は「大会が個人戦初出場だった。序盤はなかなか勝負を決められず、調子はいまひとつだった。しかし、試合を重ねるごとに調子を上げ、勝ちを重ねた。一方、西村は破竹の勢いで、2人は決勝で合間見え。寺島は「相手が後輩である以上負けない」。延長7分過ぎ、西村が入り込んだところで寺島が小手を決めた。



寺島光紀



鈴木愛梨



西村英久

### 男女とも2位に

#### 女子 接戦の末惜敗

##### ハンド

平成21年度春季リーグ戦が4月11日・15日17日にかけて、日本体育大学健康台体育館(横浜市)などで開催された。本学女子は、5月17日、東京女子体育大学との最終戦に惜敗し、優勝を逃した。男子は日本体育大学と早稲田大学に引き分け、2位となった。

男子は10日、7勝中の日本体大と対戦した。この時点で本学は6勝1分で日本体大を追いかけ2位。双方の自力優勝がかかった重要な一戦となった。



日体大の選手をかわしシュートを放つ木切倉

開始2分、日体大に先制点を奪われ苦しい展開に。13分までに3-9の6点差にまで引き離された。しかし、粘りのディフェンスで攻撃をかけるチャンスを持った本学。確実な得点で14-17で前半を終えた。後半12分にエース樋口睦

有田祐三監督(体育・講師)は「まさに明暗を分けた。負けた選手の中にも全レベルはいる。鈴木は動きに無駄がなく、よく見て技を出せていた。気持ち研ぎ澄まされていたのかもしれない」と語った。

全日本大会には男子が寺島、西村のほか新井良(体育4年)、村上雷多(同1年)が、女子は鈴木、多和田のほか、ベスト8の美波(体育1年)、敗者復活戦で出場権を獲得した原口理恵子(同3年)が出場する。

### 昨年より順位上げ3位 初回から試合動く

#### 野球

4月18日から相模原球場(神奈川県相模原市)などで行われていた首都大学野球春季リーグが、5月31日に終了した。本学は7勝6敗で3位となった。

5月31日の東海大との最終戦では、初回から試合が動いた。1回表、本学の先頭打者、兼屋辰吾(体育4年)が単打で出塁すると、続く酒井秀文(同3年)と

昨年の同大会で本学は4位だったため、順位を一つ上げた結果となった。川村監督は「優勝も狙っていたから、満足していない。ただ、大会前には出来上がっていないチームが、この大会を通して大きく成長してくれた」とチームを高く評価した。



相手のスライディングを阻む野口

開始2分、日体大に先制点を奪われ苦しい展開に。13分までに3-9の6点差にまで引き離された。しかし、粘りのディフェンスで攻撃をかけるチャンスを持った本学。確実な得点で14-17で前半を終えた。後半12分にエース樋口睦

個人賞は以下の通り【女子】優秀選手賞 樋口睦(体育4年)、作内杏那(同3年)、山野由美子(同2年) 【男子】優秀選手賞 川村睦(同4年)、久保侑生(同3年)





### ブルギバスクール 語学学校 (チュニジア) 齋藤 竜太

「アッラー・アクバル(神は偉大なり)」。アッラー・アクバル。イスラムの一日5回のお祈りの時に流されるこの「アザーン」。私が語学留学した、北アフリカはチュニジアの首都チュニス市にも、もちろん流されました。しかし、チュニスっ子たちは、歩調すら変えずに石畳の道を行き交うのでした。

チュニジアは地中海沿岸の、ちょうどイタリアの「長靴」のつま先の対岸に位置する、人口約1000万人の国です。カルタゴやローマの遺跡が多く、地理的な近さもあって、ヨーロッパからの観光客が数多くやってきます。私が学んだ語学学校「ブルギバ・スクール」にも、多くの欧米人がアラビア語を学びに来ていました。

チュニジアは建国以来、世俗化を強力に推し進めてきており、建国の祖であるヒバ・ブルギバは、あえてラマダーン(断食月)の最中にオンラインジューズを飲むような人物であったといえます。よくテレビで見ると、白い服を着た男たちがメッカに向かってお祈りをしている、といった光景にはお目にかかれませんでした。

ある日のこと、50度の炎天下に耐えかねて入った喫茶店で、「バリエ(炭酸水)」と頼んだつもりが出てきたのは「ビエール(ビール)」。「さるりと見渡すと、暑さを避けての長い昼休みを過ぎたために喫茶店で涼んでいる現地のおじさんたちも、そこでビールを飲んでるのでした。

一方、「おれは死後天国に行けるように、この現世でなるべく多くの善行をつむんだ」と話していたタクシー運転手や、両親がげんごな顔をするのも気にせず、コーランに深く帰依している19歳の女子学生など、イスラームに深く帰依する姿を見て、感動



サハラ砂漠を背景にラクダとパシャリ

## ビールで一服ムスリムの日常

放課後学習チューター制度

### 5教科中心に大学生が指導 中学生の学力底上げねらう

つくば市の事業として「放課後学習チューター指導」が開始。指導者は市内の市立中学校全14校に、つくば市内の大学生や大学院生を派遣し、放課後や夏休みなどに補習授業を行う取り組みだ。これを受け、現在本学でも参加する学生を募っている。

派遣すること、学力の底上げを狙う。派遣された学生は5教科を中心に、中学校の先生と一緒に解き方をアドバイスしていく。現場の教育に携わること、実地経験を積み、学生の地域貢献にもなる。学生にはボランティア認定証が発行され、交通費が支給される。

### 6210人が汗を流す 春季スポーツデー

平均では全国トップレベルだが、学習塾に通うか通わないかで学力差が生じている。学習塾の集中する市内の中心部だけでなく、郊外の学校にも大学生を幅広く

学生と教職員がスポーツを楽しむイベント、第33回春季スポーツデーが、5月23、24日の両日、本学の野球場や陸上競技場、各体育館など、17会場で開催された。2日目の24日には雨に見舞われたものの、延べ

6210人が参加し、盛り上がりを見せた。開会式では山田信博学長が開会宣言を行い「スポーツデーは体育専門学群によるチームライフルの体験会などのサークル企画や学類対抗のムカデ競争やリレーなどが行われた。当

各会場では正式種目のソフトボールやバスケットボール、テニスなど8種目のほか、ライフル射撃部によるチームライフルの体験会などのサークル企画や学類対抗のムカデ競争やリレーなどが行われた。当



「ポイ」を撃ち抜き、ギネスに挑戦

「ポイ」と呼ばれる標的5つを、水鉄砲を使い何秒で撃ち抜けるかというギネス記録に挑戦する種目が新たに設置され、多くの人が楽しんでいて、2日目に開催された「筑波大学大運動会」の一般部門で優勝したチーム「Xuan2」の社会学部4年生の女性4人は、「友人の誘いで参加した。優勝できて、大学生活の良い思い出になりそう」と話していた。

スポーツデー学生委員会委員長の古谷貴章さん(数学3年)は大会終了後「天気が悪かったのが残念。秋の大会では参加者に喜んでもらえるよう、運営を改良したい」と話した。

### 本学の学生団体が出店 子供たちに職業体験を

09年度つくばフェスティバルが5月9、10日、中央公園(吾妻)周辺で開催された。



警察官の仕事体験する子供たち

本学学生団体の「ゆくもあ」はT・A・C・Tの協力を得て、子供向けの企画「GOOD JOB」を出店。企画には8団体が参加した。2日間で1000人が来場した。

企画では子供たちがさまざまな職業を体験し、通貨である「ジョブジョブ」を給料としてもらい、ブース内で消費の体験をした。なかには今年も使えるということで、昨年発行した「ジョブジョブ」を持参した子供もいたという。職業体験以外にもスタッフ10人対子供100人の鬼ごっこなどの企画を催した。

ゆくもあ代表の町田健登さん(国総3年)は「子供たちに夢と感動を与えたい」と話した。

### ラジオつくば 新企画が登場 参加団体募る

つくば市のコミュニティFM局「ラジオつくば」の今夏追加されたコーナーは2つ。1つは「15分依

託コーナー」。つくば市民に対して定期的に広報を行いたい学生団体がラジオ番組制作する。もう1つは「Egg's Laboratory」。科学者の卵である大学生が個人の目線から、学術的な話題やつくば

の話などについて語る。この学生枠を運営するたため、ラジオつくば学生スタッフの有志が「筑波大学ラジオ運営局」を新たに設立した。今後、学生枠の管理、渉外業務を担う。本局

体の代表である尾形さん(教育研究科1年)は「本学だけでなく、多くのLaboratory学生たちにも参加を募りたい」と今後の活動の展望を語った。

### ひたち国際大道芸 芸専学生がバスを装飾 等身大のおじさん 展示も



車内の装飾に見入る乗客達

茨城県日立市で5月9、10日、「ひたち国際大道芸」が開催された。開催に合わせ、会場内の循環バスに目立つ電飾のバスが貸し出され、武藤はるかさん(芸専3年)を中心としたグループ

1カ月を要した。「作業はスムーズに行き、チームワークも抜群だった」と武藤さん。外装・内装ともに全て手作りで、目を引いたのが、バスの中に展示された等身大の「おじさん」。雰囲気表現するために立体的なボディに古着のスーツを着せ、等身大で中肉中背のおじさんを展示した。

「現地まで搬送するのに苦労した。バスの揺れにかなり耐えさせるために、神経を使った」とメンバーの岩崎真さん(同)は話す。「このプロジェクトを通していろんな人と出会うことが出来て良かった」と武藤さんは感想を話した。

間は、ペDESTリアンデッキの場合とほとんど変わらない。それにもかかわらず、利用している学生は驚くほど少ない。各通学路利用率については全代会誌Campus170号にて特集が組まれているので興味のある方は一読してほしい。

後者の解決策としては、現状あまり使われていないループ沿いの一階駐輪場の利用があげられる。駐輪場の設置はたびたび全代会内部でも議論、調査が行われてきたが、駐輪場の収容数は十分足りているという結論が得られている。一度、ループ道路の近くの駐輪場のぞいてみるといいかもしれない。

ループ道路に限らず、混雑の少ない道路を利用すれば快適に通学することができる。新しい自分だけの通学路を探してみたいかだろうか。

尾形理(尾形理) a.c.jp

# 魔法にかけられた1日

## 回祭 35 番 曇天の中、多くの客足 子供たちも祭を満喫

「祭それは2日間の魔法」をキャッチフレーズに、5月30日、第35回宿舎祭(やどか祭り)が開催された。29日に予定されていた前夜祭が、雨天により中止。本祭も悪天候が懸念されつつ始まったが、曇天をはねのける祭りの熱気に、会場は大盛況だった。模擬店は、本祭のみ62団体が出店した。(本紙・西内彩香、野口尚喜、堀木陽子、光安素子、西川大照、社会学類、宇治田輝之、隅田聖彦、根津彩香、国際総合学類、加藤茂行、地球学類、森田聡、社会学類)



1位をとった芸術専門学群の御典

◆オープニング  
午前11時半、メインステージで本祭オープニングが始まった。応援部「WINS」によるステージ発表に始まり、吾妻小学校マーチングバンド部「レッド・ウィングス」による演奏発表が行われた。ラストには、くす玉が割られ、第35回やどか祭り開幕を聞いた。  
◆子供企画  
正午ごろからイベント会場、子供たちのぎやかしな声と共に子供企画が始まった。今年は子供大運動会と題し、地域の子供会から約30人の小学生が大会との交流を楽しんだ。子供たちは、宿舎祭実行委員さんによる悪の軍団と、奪われたお菓子をめぐり2つのゲームで対決した。綱引きとおかけ玉入れが行われ、悪の軍団相手に果敢に挑んだ子供たちが勝利した。2つのゲームの結果、子供たちは悪の軍団からお菓子を奪い返し、疲れた様子もなく「楽しかった」と笑顔を見せた。  
◆つくばの超人  
午後1時からメインステージで、今年2回目の「つくばの超人」が開催され、6団体が個性的な演技で会場を沸かせた。ジャグリングサークルSheepの高地雅光さん(情報2年)や体操部、T sukuba Futaba Clubの小林雄さん(エンス3年)は、アクロバティックな技で観客を魅了。フォルクローレ愛好会は愉快な音楽を奏でた。チャンピオンを勝ち取ったのは、スナドラムを華麗に演奏した三浦晋さん(情報4年)と三浦さん(情報4年)と三浦さん(情報4年)は、1年間憧れた舞臺で優勝出来ると喜びを語った。また、MVPには縄跳びサークルの筑波跳びが選ばれた。従来の縄跳びのイメージを覆すような演技で観客を驚かせた。観客の柏野全潤(まきてる)さん(人文1年)は、下ラムの発表は圧巻だったと語った。また、市内から来た親子連れは「素晴らしい発表に驚いた」と話した。



ゆるくのたまちゃん No.11 4コマワルデレ by つく☆つく

ゆるくのたまちゃん No.11 4コマワルデレ by つく☆つく  
ゆるくのたまちゃん No.11 4コマワルデレ by つく☆つく  
ゆるくのたまちゃん No.11 4コマワルデレ by つく☆つく

### 前夜祭雨天中止 模擬店や企画に影響

雨天のために、5月29日に予定されていた前夜祭は中止となった。前夜祭が中止となるのは2年振り。この影響を受け、前夜祭で出店予定だった21団体が出店出来なくなった。また、7団体が出場するはずだったステージ企画も開催出来なかった。宿舎祭実行委員長の平山明広さん(自白3年)は「前夜祭中止の判断は辛かったが、本祭で委員や来場者の笑顔を見ることが出来嬉しかった」と語った。

### ゆかた コンテスト

午後7時、会場に多くの観客が詰めかける中、毎年恒例のゆかたコンテストが始まった。今年は9つの学群からゆかたコンテストが実施された。今年度のグランプリは、人間学群代表の南嶋美沙子さん(教育)。準グランプリに人文・文化学群代表の萩原有子さん(自白)、個性派賞には芸術専門学群代表の荒木茉莉子さん(選抜)が選ばれた。(情報4年)と三浦さん(情報4年)は、1年間憧れた舞臺で優勝出来ると喜びを語った。また、MVPには縄跳びサークルの筑波跳びが選ばれた。従来の縄跳びのイメージを覆すような演技で観客を驚かせた。観客の柏野全潤(まきてる)さん(人文1年)は、下ラムの発表は圧巻だったと語った。また、市内から来た親子連れは「素晴らしい発表に驚いた」と話した。

### グランプリは人間学群代表



リコーダー演奏を披露する南嶋さん

人間学群のパフォーマンスは、人間愛がテーマ「にんげんっていいな」が歌われ、会場を包み込む大合唱となった。南嶋さんは「グランプリをとても嬉しく思います。1カ月間仲間と頑張った結果だと思っております。チームワークで勝ち取ったグランプリを喜んだ。個性派賞を受賞した芸術専門学群は、プロードウェイ風のダンスを披露した。浴衣をはじめ背景まで手作りというこだわりは、芸専ならではの強さだ」と話した。

◆御典  
午後2時55分からイベント会場で行われた御典パフォーマンスが披露された。今年は昨年優勝の比較文化学類や初出場となる医学部など計10団体が参加した。今年度は、宇宙人が乗った御典と宇宙人を模した格好で、和と宇宙を融合させた芸術専門学群が優勝した。芸専は昨年度、規定違反のため失格となっており、その雪辱を果たした。2位に生物資源学類、3位には社会学類が選ばれた。観客の看護学類2年の女子学生は「芸専のアイデアが奇抜ですごかった」と話した。

◆Dance Dance  
午後4時45分から、メインステージでは「Dance Dance Dance」が開かれ、3つのサークルがダンスを披露した。観客の徳永雄平さん(医療2年)は「REAL JAMのフレイクダンスが印象的だった。ダンス部の盛り上がりを見た。前々度ダンスを披露した際の盛り上がりを見た。観客の徳永雄平さん(医療2年)は「REAL JAMのフレイクダンスが印象的だった。ダンス部の盛り上がりを見た。前々度ダンスを披露した際の盛り上がりを見た。」と話した。

◆エンディング  
祭りを締めくくるとエンディングでは学生たちがやぐらを囲み、やどか音頭をにぎやかに歌い踊った。会場を訪れた男子学生は「宿舎祭を振り返って「新しい宿舎祭」が仲良くやっていた感じが懐かしい」と語った。

◆女子学生が被害に  
本学2年の女子学生が4月29日午前0時半ごろ、自転車道で学内ループ道路のハンドボールコート前を自転車で走行していたところ、原付バイクに乗った不審者が後方から追い抜きざまに自転車の前かごに入れていたバッグを奪われた。被害者は「バッグを奪われた。被害は、財布や携帯電話など。女子学生にはけがはなかった。同様の男の犯行と思われる事件が2、4月で、7件発生している。いずれも被害に遭ったのは、本学の女子学生。犯人はまだ捕まっていない。」

◆暴行事件多発  
犯人は3人組の男。本学1年の男子学生が5月18日、1人で自転車道で自宅へ向かう途中、3人組の男らに無理矢理止められ顔面を殴られた。財布とかばんを奪われた。男子学生は「暴行を受けた。財布とかばんを奪われた。男子学生は、鼻骨を骨折した。同様の事件が同月17日から連続して発生しており、他大学の学生などが被害を受けた。他の本学生も3人組に遭遇したが、すぐに逃げたため被害はなかった。学生生活課ではポスターを掲示して、注意を呼びかけている。」



巧みな技を披露する三浦さん(つくばの超人)

### 歌留多部

歌留多部は、競技かるたの一種で、逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の



「速さ」が勝負の鍵

「速さ」が勝負の鍵  
文化系サークル会館1階の和室では熱い戦いが繰り広げられている。札が乱れ飛び、畳を叩く音が響く。これが歌留多部の練習風景だ。現在部員は20人。練習は火、木、日の週3回行っている。歌留多部が行っているのは競技かるたと呼ばれるもの。かるたには優雅な遊び」というイメージがあるが、競技かるたはまるで逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の

「速さ」が勝負の鍵  
文化系サークル会館1階の和室では熱い戦いが繰り広げられている。札が乱れ飛び、畳を叩く音が響く。これが歌留多部の練習風景だ。現在部員は20人。練習は火、木、日の週3回行っている。歌留多部が行っているのは競技かるたと呼ばれるもの。かるたには優雅な遊び」というイメージがあるが、競技かるたはまるで逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の

### 探る tanbō

探る tanbō  
文化系サークル会館1階の和室では熱い戦いが繰り広げられている。札が乱れ飛び、畳を叩く音が響く。これが歌留多部の練習風景だ。現在部員は20人。練習は火、木、日の週3回行っている。歌留多部が行っているのは競技かるたと呼ばれるもの。かるたには優雅な遊び」というイメージがあるが、競技かるたはまるで逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の

「速さ」が勝負の鍵  
文化系サークル会館1階の和室では熱い戦いが繰り広げられている。札が乱れ飛び、畳を叩く音が響く。これが歌留多部の練習風景だ。現在部員は20人。練習は火、木、日の週3回行っている。歌留多部が行っているのは競技かるたと呼ばれるもの。かるたには優雅な遊び」というイメージがあるが、競技かるたはまるで逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の

「速さ」が勝負の鍵  
文化系サークル会館1階の和室では熱い戦いが繰り広げられている。札が乱れ飛び、畳を叩く音が響く。これが歌留多部の練習風景だ。現在部員は20人。練習は火、木、日の週3回行っている。歌留多部が行っているのは競技かるたと呼ばれるもの。かるたには優雅な遊び」というイメージがあるが、競技かるたはまるで逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の

「速さ」が勝負の鍵  
文化系サークル会館1階の和室では熱い戦いが繰り広げられている。札が乱れ飛び、畳を叩く音が響く。これが歌留多部の練習風景だ。現在部員は20人。練習は火、木、日の週3回行っている。歌留多部が行っているのは競技かるたと呼ばれるもの。かるたには優雅な遊び」というイメージがあるが、競技かるたはまるで逆だ。着物を着て行う大会は少なく、ほとんどはジャージにTシャツという格好で行われる。小倉百人一首の上の

# Who's Who?



「記憶の部屋II」を背に立つ星さん

「記憶の部屋」シリーズの作者

## 星美加 さん (芸術3年)

風にかーテンがなびき、紙が散乱する中、カラスが立っている。あたかも本物の部屋を眺めているようだ。星美加さん(芸術3年)が発表した「記憶の部屋」シリーズは3D(3次元)CGの下絵を用いて描かれている。

### 彫刻から油彩画に転向 3DCGで下絵を描く

「彫刻の教室は成り立つのか?」続けられるのか?と自問した結果、油彩画の世界に足を踏み入れた。本学大学院に進むことに決め、油彩画を専攻することにした。学生時代に彫刻を専攻していたため、入学当初、油彩画に関しては大学生程度の基礎知識さえ身に付けていなかった。遅ればせながら取り戻した。修士課程を修了した頃から、2D(2次元)CGを用いて、下書きを作るようになった。しかし、2DCGでは、異なる視点からの風景や時間の経過による影の変化などを表現することが困難だった。

次号は 9月1日(火) 発行予定です

編集後記 今号は、4面「反射鏡」の写真に注目です。手前がYさんで、向こう側から給付金をつかんでいるのがMさん。S君が撮影しました。「いいね、いいねエー」とラッシュがバシバシと

つくば、東京両キャンパスで開催 社会人のための早期修了プログラム 学法科大学院で、両日とも早期修了プログラム

7月28日から3日間 大学説明会 大学説明会が7月28日から3日間、学類ごとに行われる。初日は、人文、国総、生物、応用理工、情報、看護、29日は比文、社会、生資、数学、物理、社工、化学、情報創成、医科、体育、30日は、日教、教育、心理、障害、地球、エシス、知識図書、医学、芸専が説明会

夏休み図書館 夏休み期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の閉館時間と貸出期間は次の通り。 中央・体芸・図情図書館 開館 午前9時-午後8時

1	重力ピエロ	伊坂幸太郎/新潮社
2	エンドゲーム	恩田陸/集英社
3	1Q84 BOOK1	村上春樹/新潮社
4	1Q84 BOOK2	村上春樹/新潮社
5	余命1ヶ月の花嫁	TBS報道局/マガジンハウス
6	天皇論	小林よしのり/小学館
7	多読術	松岡正剛/筑摩書房
8	ソクラテスの弁明(関西弁訳)	PARCO出版
9	告白	湊かなえ/双葉社
10	ノルウェイの森(上)	村上春樹/講談社

### 催事

**フォーラム**  
◆3Eフォーラム  
「第3回つくば3Eフォーラム」が、8月8日につくば国際会議場で開催される。参加費は無料。詳細はホームページ <http://www.sakura.ac.jp/~tsukuba.ac.jp/~forum/index.html>

**演奏会**  
◆チャリティーコンサート  
生活にチャリティーを、7月5日午後4時半5時に学生NGO団体「ユース・エンディング・ハンガリー」の主催により、研

### 筑波自然図鑑

ツミ (タカ目タカ科) 撮影地=つくば市

皆さんは、住宅地の公園にもタカがいるのをご存知だろうか。今回紹介する鳥はまさにそのようなタカで、身近でありながらあまり知られていない。写真はメスの成鳥で、体が小さくて愛らしいが、タカとしての風貌を十分に感じさせる。つくばでは、4-5月にオスとメスを同時に見かけたり、枝を運んだりしているのだから、たぶん繁殖しているのだろう。街の中に順応して懸命に生きる姿をいっまでも見守りたい。(写真・文 川武浩平、生物3年、野生動物研究会)

BOIイベント

### つくばエキスポセンターで

つくば市で第20回生物学オリンピックが開催されるのに伴い、イベントが開催される。

第7回ミーツ・ザ・サイエンスが、6月28日午後1時半-午後2時45分、つ

入場料が必要

### 特別展「ムシテク」が

7月5日-8月31日午前9時50分-午後5時、つくばエキスポセンターで開催される。昆虫の能力や構造を

23日「昆虫の感覚と行動の不思議」、8月8日「セミ

夏休み図書館

### 土日・祝日は閉館

夏季休業期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の閉館時間と貸出期間は次の通り。

中央・体芸・図情図書館 開館 午前9時-午後8時

貸出 午前9時-午後7時

### 7月28日から3日間

大学説明会が7月28日から3日間、学類ごとに行われる。初日は、人文、国総、生物、応用理工、情報、看護、29日は比文、社

参加希望者は、大学ホームページ上のフォームから申し込み。受付締め切りは7月10日。日程表、会場案内ともにホームページからダウンロードできる。